

シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会学演習（3）（6）	2020	通年	土3	文学部,社会学専攻, 社会情報学専攻（情報コミュニケーションコース）	小熊 信	3年次配当	4

履修条件・関連科目等

授業で使用する言語

授業で使用する言語（その他の言語名）

授業の概要

産業を通じたまちづくりで特色ある活動を展開している地域を研究対象としてとりあげ、フィールドワーク、収集されたデータの検討・分析に取り組み、共同で報告書を作成していきます。調査内容や調査地は、受講者との議論により決定します。

科目目的

社会調査についての理解を深め、実地での経験を通じ、社会的な考察を深める視座を築くことをめざします。

到達目標

授業計画と内容

（前期）

- 第1回 年間スケジュールの策定
- 第2回 グループワーク① 研究テーマの検討
- 第3回 プレゼンテーション① 研究テーマ構想
- 第4回 先行研究レビュー 地域社会の現状
- 第5回 先行研究レビュー 産業と地域社会
- 第6回 グループワーク② 調査地の検討
- 第7回 グループワーク③ 調査計画の策定
- 第8回 グループワーク④ 調査地に関する文献・資料調査
- 第9回 グループワーク⑤ 調査仮説の確立
- 第10回 プレゼンテーション② 調査仮説
- 第11回 グループワーク⑥ 事前前フィールドワークのまとめ
- 第12回 プレゼンテーション③ 事前前フィールドワークの成果
- 第13回 グループワーク⑦ フィールドワークの計画策定
- 第14回 グループワーク⑧ フィールドワークの調査項目の作成

（後期）

- 第1回 グループワーク① 調査結果の検討
- 第2回 プレゼンテーション① 調査結果に関する報告
- 第3回 グループワーク② 分析枠組みの検討
- 第4回 プレゼンテーション② 分析枠組みに関する報告
- 第5回 調査報告書の執筆方針の策定
- 第6回 グループワーク③ 調査結果のまとめ（聞き取り調査）
- 第7回 グループワーク④ 調査結果のまとめ（アンケート調査）
- 第8回 プレゼンテーション③ 調査結果のまとめ
- 第9回 グループワーク⑤ 考察の検討
- 第10回 プレゼンテーション④ 考察の発表
- 第11回 グループワーク⑥ 結論の検討
- 第12回 ゼミ論文・研究発表
- 第13回 卒業論文・研究発表
- 第14回 総括

担当教員は民間シンクタンクである労働調査協議会にて主任調査研究員を務めている。調査の実務経験にもとづきながら、実践をつうじ、社会的な考察を深める視座を築くことをめざします。

授業時間外の学修の内容

授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

前期、および、夏休み期間の少なくとも2回、調査地でのフィールドワークを実施します。また、授業の前後には、ディスカッションを含む発表や検討するための資料作成、ゼミ論の原稿をまとめることなど準備が必要となります。

授業時間外の学修に必要な時間数/週

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準（備考）

平常点50%、ゼミ論執筆（フィールドワークの報告書）50%。
ゼミ論執筆にあたっては、グループで作成した文章についてフィードバックを行います。

なお、4年次以上で履修する社会学演習（6）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点をくれぐれもご注意ください。

課題や試験のフィードバック方法

課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

アクティブ・ラーニングの実施内容

アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

授業におけるICTの活用方法

授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

実務経験のある教員による授業

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

研究活動を進めるなかで紹介していきます。

その他特記事項

参考URL

コメント1

コメント2

特別措置期間中はmanaba、電子メール、および、Webexを活用したオンライン授業を実施します。当該期間においてはmanaba、電子メールを通じた資料の配布、および、受講生からの発表資料・小レポートの提出を行うとともに、Webexを通じたディスカッションを実施します。特別措置期間以降における授業形態・授業運営方法については改めて連絡します。

コメント3

コメント4
